

記入例

申告書提出日を記載してください。

令和〇年〇月〇日

令和〇年度

この申告書に対して直接対応される方を記入してください。

申告を税理士等に委託された場合にのみ記入してください。

受付印

大阪府豊能郡豊能町長 殿

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

※所有者コード 提出用

記入不要

第二十六号様式

所有者	1 住所 (ふりがな) 又は納税通知書送付先	とよのちよう よの 豊能町余野414番地の1 (電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)	3 個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 〇 × △ □	8 短縮耐用年数の承認	有 ・ 無
	2 氏名 (ふりがな) 法人にあってはその名称及び代表者の氏名	とよのしょうきやくしん 株式会社 豊能償却資産 しょうきやく たろう 代表取締役 償却 太郎 (屋号)	4 事業種目 (資本金等の額)	〇〇業 (20 百万円)	9 増加償却の届出	有 ・ 無
			5 事業開始年月	昭和 60 年 1 月	10 非課税該当資産	有 ・ 無
			6 この申告に回答する者の係及び氏名	償却 太郎 (電話 072-734-〇〇〇〇)	11 課税標準の特例	有 ・ 無
			7 税理士等の氏名	償却 花子 (電話 072-734-××××)	12 特別償却又は圧縮記帳	有 ・ 無
					13 税務会計上の償却方法	定率法 ・ 定額法
					14 青色申告	有 ・ 無

イ 前年度までに申告済みの資産の取得価格を資産の種類別に合計して記載してください。

ロ 種類別明細書に記載の取得価格を資産の種類別に合計して記載してください。

ハ 種類別明細書に追加した取得価格を資産の種類別に合計して記載してください。

資産の種類	取得価額				計(イ)-(ロ)+(ハ)(ニ)
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	取得価格(ニ)	
1 構築物					
2 機械及び装置	19 031 600	15 506 000			3 525 600
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品			512 000		512 000
7 合計	19 031 600	15 506 000	512 000		4 037 600

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地	(1) 余野414-1 (2) 東ときわ台1-2-3 (3)
16 借用資産 (有・無)	貸主の名称等 株式会社 豊能償却工業 借用資産がある場合は貸主の名称等を書いてください。
17 事業所用家屋の所有区分	自己所有 ・ 借家

該当する項目を○で囲んでください

資産が分散している場合は、全部の所在地を書いてその主たる番号を○で囲んでください

資産の種類	評価額	決定価格	課税標準額
	(ホ)	(ヘ)	(ト)
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

18 備考(添付書類等) ■資産の増減について (該当する番号に○をつけてください。)
(1) 増加減少あり (別紙「種類別明細書」に記入してください)
2. 前年増減なし
3. 該当資産なし
4. 廃業・倒産・市町村外移転など(年 月)
5. その他()
申告書の控えが必要な場合はあらかじめ申告書のコピーを一部ご用意ください。

◎資産の異動の有無に関わらず、必ず申告いただきますようお願いいたします。

記入例

令和〇年度 償却資産種類別明細書

年 月 日 頁

所有者コード

所有者名 株式会社 豊能償却資産

連番	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	(ロ) 減価残存率	(ハ) 評価額	課税標準額	課税標準額の特例
					年号	年	月						
01	2		〇〇装置	1	昭和	60	4	14,506,000	6				
02	2		〇〇装置	1	平成	20	3	2,000,000	6				
03	2		〇〇分析器	1	平成	21	4	1,500,000	8				
04	2		〇〇スコープ	1	平成	30	6	1,025,600	6				
05	6		〇〇備品	1	令和	3	7	512,000	6				
				小 計				4,037,600 14,506,000					
				累 計				4,037,600 14,506,000					

記入不要

記入不要

前年中に減少した資産は該当欄に朱線を引き、一部減少の場合は朱で見え消し修正をし、償却資産申告書(償却資産課税台帳)の(ロ)に資産の種類別に合計を記載してください。

「固定資産の耐用年数等に関する省令」別表1に掲げる耐用年数を記入してください

前年中に取得した資産は償却資産申告書(償却資産課税台帳)の(ハ)に資産の種類別に合計を記載してください。形式等が同一でも、取得年次、取得価格が異なるものは分けて記入してください。

- 資産の種類
 1: 構築物 2: 機械及び装置 3: 船舶
 4: 航空機 5: 車両及び運搬具
 6: 工具、器具及び備品